

&lt; 認知症対応型共同生活介護用 &gt;

**評価結果報告書****地域密着型サービスの外部評価項目構成**

. 理念に基づく運営	項目数	11
1. 理念の共有		2
2. 地域との支えあい		1
3. 理念を实践するための制度の理解と活用		3
4. 理念を实践するための体制		3
5. 人材の育成と支援		2
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応		1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援		1
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		6
1. 一人ひとりの把握		1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し		2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援		1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		2
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		11
1. その人らしい暮らしの支援		9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		2
	<b>合計</b>	<b>30</b>

事業所番号	4670104076
法人名	有限会社パッション
事業所名	グループホームパッション
訪問調査日	平成19年12月8日
評価確定日	平成20年3月26日
評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま

**項目番号について**

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載します。

**記入方法**

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入します。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけます。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容について記入します。

**用語の説明**

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月18日

## 【評価実施概要】

事業所番号	鹿児島県指定第4670104076号
法人名	有限会社パッション
事業所名	グループホームパッション
所在地	鹿児島市和田一丁目16番1号 (電話)099-269-1171

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成19年12月8日
評価確定日	平成20年3月26日

## 【情報提供票より】(19年11月1日事業所記入)

### (1)組織概要

開設年月日	平成17年1月4日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤8人, 非常勤8人,	常勤換算14.1人

### (2)建物概要

建物構造	鉄筋	造り
	2階建ての	1~2階部分

### (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000 円	その他の経費(月額)	0 円	
敷金	有( )円	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	350 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000 円	

### (4)利用者の概要(11月1日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	2名	要介護2	3名		
要介護3	8名	要介護4	3名		
要介護5	2名	要支援2	名		
年齢	平均 84.8歳	最低	77歳	最高	96歳

### (5)協力医療機関

協力医療機関名	医療法人公仁会橋野循環器内科、ひらせ歯科クリニック
---------	---------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは鹿児島市の南進する中心街の南に位置し、交通量も多い国道沿いに立地している。対外的に開放され、地域との交流が盛んで多くのボランティアや保育園児の来訪もあり、入居者が地域の中で生活していることが実感できるホームである。入居者は食事の準備や後片付けなど役割を持ち、外出・買い物・地域との交流や清掃活動などを楽しみながら、気分や体調に合わせてそれぞれのペースでゆったりと生活している。管理者を中心とした職員間のチームワークもよく、サービスの質の向上に向けた取り組みがなされている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	市町村との連携に取り組みサービスの向上に役立っている。緊急時の対応についても研修・訓練を実施している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	ユニット毎に全員で検討し、協議の結果出てきた課題「グループホームは地域の中でどんなことができるのか?」など課題解決に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議の結果、緊急時の体制を整える必要があるとの声から、地域町内会や隣の医療機関や自動車整備工場など協力体制作りが進められている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	ホーム便りを送付しホームの全般的な状況・催しなどを伝えている。年2回家族会を開催し、意見を聞く他に、来訪時や電話連絡時など機会を捉えて家族の意見・要望を聞き、管理者中心に迅速な対応をしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	町内会に参加し、清掃活動やしめ縄作り、餅つき大会、盆踊りなどの地域の行事にも参加し交流を図っている。また、地域のボランティアや保育園児との交流や来訪者も受け入れている。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念の一つに「あなたの趣味や生きがいを生かし、地域社会に貢献できるようにサポートします」と掲げて、地域との連携に取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日仕事に就く前に基本に立ち戻るために、朝礼時に理念を唱和し、お互いに確認している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に参加し、清掃活動やしめ縄作り、餅つき大会、盆踊りなどの地域の行事にも参加し交流を図っている。また、地域のボランティアや保育園児との交流や来訪者も受け入れている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ユニット毎に全員で検討し、協議の結果出てきた課題「グループホームは地域の中でどんなことができるのか？」など課題解決に取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の結果、緊急時の体制を整える必要があるとの声から、地域町内会や近隣の医療機関や自動車整備工場など協力体制作りが進められている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村との役割分担や介護保険の内容についてなど介護保険課や地域包括支援センターなどと連携をとっている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	入居者が家族等へ出す手紙の代筆をして状況を伝えたり、ホーム長から具体的な身体状況・生活状況の報告を出している。金銭報告は近くの人は来訪時に確認し、遠距離の人にはコピーを送付している。全般的な状況はホーム便りを送付し伝えている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年2回家族会を開催し、意見を聞く他に、来訪時や電話連絡時など機会を捉えて家族の意見・要望を聞き、管理者中心に迅速に対応している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	人事異動による利用者のダメージを防ぐために、研修をしたり、職員が腰痛などの疾病により退職にいたらないように配慮をし、馴染みの関係作りをしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	地区グループホーム研修会の月例研修への参加や、ホーム独自の研修の他に、各職員の段階に応じた研修を受けている。研修受講者は、レポートを作成しスタッフミーティング時等に報告している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地区グループホーム研修会で、他のホームのスタッフと交流するほかに管理者の情報交換や相互訪問をしてサービスの質の向上を図っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	1、遊びに来てもらう。2、ホームで少しの時間過ごしてもらう。3、入居と段階を経て入居してもらうよう取り組んで、馴染みながらのサービス利用ができるようにしている。病院紹介の場合、いきなり入居になることがある。		「馴染みながらのサービス利用」について病院側に理解を求めることが望まれる。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者から生活習慣、調理方法、風習など生活の知恵を学ぶこともある。また職員が困りごとをかかえている時など利用者から何気ない慰めを受けることもあり、さりげなく支えあう関係を築いている。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の支援の場面や、ケアプラン変更時に意見や意向を聞いている。コミュニケーションがとり難い人は、本人の動きやしぐさから察知し本人の意向に沿った支援をするようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月1回利用者毎にモニタリングを実施し、サービス担当者会議で担当者や家族の意向を踏まえて利用者中心の計画を作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎に定期見直しをし、毎月のモニタリングで計画の見直しが必要であれば見直している。また、状況の変化時には状況に即した見直しを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	美容室の利用支援や自宅訪問、墓参・買い物・リハビリの支援など本人や家族の要望を満たすように支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族と話し合い、本人や家族の希望に即したかかりつけ医への支援をしている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けた方針については、主治医も交えて家族と話し合い、その上で家族の意向に沿った支援をするようにしている。職員間では定期的に方針等について協議している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	排泄・食事・入浴等の個々のサービスの場面で、プライバシーや誇りを傷つけないよう配慮した支援をしている。また、個人情報保護法をふまえて、記録等は施錠管理している。職員は守秘義務の誓約書に署名している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかなホームのスケジュールはあるが、入浴・食事・散歩など本人の意向に沿って、その人のペースで進められるように支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者は、調理の下ごしらえや、準備・後片付けなど自分でできることをそれぞれ取り組んでいる。菜園で作った野菜や、ホームで作った漬物などが食卓に上り、職員と一緒に食事を楽しんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的な入浴日は決まっているが、希望にあわせていつでも入浴できるようにしている。また、入浴剤を工夫して使うなど入浴を楽しめるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	お茶を入れる係り、茶碗を洗う係り、掃除、新聞取り、食事の準備や後片付けなど役割感を持って取り組めるように支援している。地域への外出や買い物など楽しみごとをつくるよう取り組みをしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	国道沿いで交通量も多いが、入居者の希望により地域への散歩や、買い物、地域の清掃活動など日常的な外出支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかける弊害を十分理解して、日中は鍵をかけていない。外出願望の強い時には、必要な支援ができるように注意を払っている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消火・避難訓練を年2回実施し、1回は夜間想定で実施している。近隣との協力体制もできており相互に支援している。緊急時の備蓄は取り組みがなされていない。	○	緊急時に備えた備蓄が求められる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスのある食事を提供できるように保健所の講習も受け、栄養や水分の摂取量についてもチェックしている。健康状態や身体状況にも配慮した細やかな支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	くつろげる和のスペースには信仰の対象も置かれ、共用空間は季節感のある飾り付けがされ、トイレ・浴室をはじめ全体に清潔感のある居心地のよい生活空間となっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅から馴染みの小物入れなどや、子ども・孫からの贈り物・写真、位牌や仏壇を置くなどして居心地よく安心して暮らせるような居室となっている。		